

3 計画の体系

目標 1

地域に根ざす福祉のネットワークづくり

●(1)市民一人ひとりの参画と協力

- ① ノーマライゼーション理念の普及・啓発
- ② 計画策定から実施、評価への市民参加の推進
- ③ 福祉教育の充実
- ④ 市民どうしの交流の促進

●(2)NPO・ボランティア等の活動促進

- ① NPO・ボランティア等への活動支援
- ② NPO等との協働
- ③ 活動拠点の整備・確保の推進
- ④ ボランティア・市民活動センター機能充実のための支援

●(3)地域での連携体制づくり

- ① 地域の支えあいネットワークの形成
- ② 地域ケアシステムの整備
- ③ 保健・医療・福祉をはじめ多様な分野の連携強化
- ④ 地域活動団体との連携への支援
- ⑤ 教育・研究機関との連携充実

目標 5

生きがいを持って暮らせる地域づくり

●(1)生きがいづくりの支援

- ① 生涯学習・趣味活動の支援
- ② 障害者の社会参加機会の充実
- ③ 男女平等参画社会の形成

●(2)個人の技や知恵を地域に生かす工夫

- ① 人材バンクの設置
- ② 定年退職後の地域デビュー支援
- ③ コミュニティ・ビジネスの支援

●(3)高齢者や障害者の就労機会の確保

- ① シルバー人材センターの支援
- ② 障害者の就労支援の充実
- ③ 関係機関との連携

目標 2

利用者支援の体制整備

●(1)ニーズの的確な把握と相談体制の充実

- ① 対象者ごとのきめ細かい相談の充実
- ② 多様な媒体・手段による相談の実施検討
- ③ 地域での相談体制の整備・充実
- ④ 福祉施設等への訪問相談の充実

●(2)わかりやすく入手しやすい情報発信

- ① 福祉情報総合ネットワークの構築
- ② 多様な媒体による情報提供

●(3)個人の尊厳を守るためのしくみづくり

- ① 地域福祉権利擁護事業・成年後見制度の普及と活用
- ② 専門的な苦情相談窓口の充実

目標 6

一人ひとりに応じた保健福祉サービスの提供

●(1)利用する人に合わせたサービス提供

- ① ケアマネジメントの充実
- ② 新しい住まい方の支援《住》
- ③ 商店における高齢者・障害者への配慮の促進
- ④ 総合的な子育て支援の展開

●(2)市民どうしの柔軟なサービス提供

- ① ファミリー・サポート・センター事業の拡充
- ② 地域ぐるみの障害者・高齢者の生活支援

目標3

誰もが快適に暮らせる まちづくり

●(1)ユニバーサルデザインを広げる取り組み

- ① ユニバーサルデザインの普及・啓発
- ② 福祉マップ（バリアフリーマップ）の作成
- ③ 交通バリアフリー法に基づくまちづくりの推進
- ④ （仮称）人にやさしいまちづくり条例の制定
- ⑤ 人にやさしいイスによるまちづくり

●(2)安全に移動できる手段の確保

- ① コミュニティバス「はなバス」の充実
- ② 高齢者や障害者の外出支援
- ③ 安全な歩道の整備

●(3)災害や犯罪から市民を守るまちづくり

- ① 地域の防災ネットワークの形成
- ② 防犯対策の充実
- ③ 悪質商法などの被害の防止

目標7

サービス利用に結びついていない 要支援者への対応

●(1)要支援者の発見と見守り・サービス提供

- ① 地域の支えあいネットワークの形成（再掲）
- ② 高齢転入者への地域デビュー支援
- ③ ひとり親家庭への総合生活支援
- ④ 路上生活者への自立支援

●(2)緊急事態への対応

- ① 女性・子どもへの暴力に対するホットラインの構築
- ② 夫や恋人からの女性に対する暴力（ドメスティック・バイオレンス）の防止対策の充実
- ③ 児童虐待の防止対策の充実
- ④ 自殺の予防

目標4

健やかに暮らせる地域づくり

●(1)健康を自ら守りつくるための支援

- ① 個人の健康管理の支援
- ② 母子保健事業の推進
- ③ メンタルヘルスケアの充実
- ④ 生涯スポーツの推進

●(2)いつまでも自立した生活を送るための 予防的サービスの提供

- ① 閉じこもりの予防
- ② ≪装い≫を楽しむ支援
- ③ ≪食≫を楽しむ支援

●(3)健やかに暮らせる地域づくり

- ① 地域健康づくり・リハビリテーション等の展開
- ② 総合型地域スポーツクラブの設立
- ③ 地域環境を大切に作るしくみづくり

目標8

選択できるサービスの 質と量の確保

●(1)サービスの質の向上

- ① 福祉サービス第三者評価システムの活用促進
- ② 事業者の質の確保と向上

●(2)サービスの質を高める 専門的人材の確保

- ① 地元の大学等教育機関と連携した福祉人材の育成・確保
- ② 専門的人材の育成

●(3)サービスを担う人材の 裾野を広げる取り組み

- ① 市の講座や研修受講者の登録と活用の促進
- ② 参加しやすいボランティア活動への工夫
- ③ 多様な主体による効果的・効率的なサービス提供の促進